

ごみを減らそう！ リサイクルを増やそう！

問まちづくり支援課 ☎ 6726

市では、ごみの減量化とリサイクルの推進に取り組んでいます。1人でも多くの市民の皆さんに、ごみ問題に関心を持っていただき、ごみの減量・リサイクルへの意識の輪がさらに広がるよう、ご協力をお願いします。

令和5年度までの目標と実績（第4次十和田市ごみ減量行動計画より）

1人1日当たりのごみの排出量

目標：920g以下
(実績：998g)
目標達成まであと78gの減量

リサイクル率

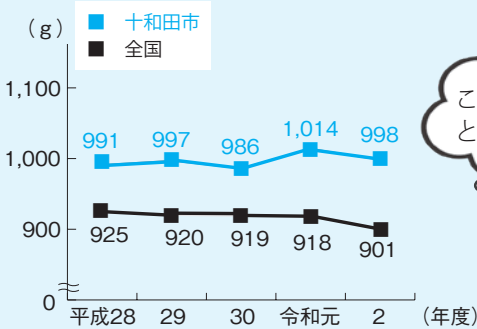
目標：25%以上
(実績：18.4%)
目標達成まであと6.6%の上昇

資源ごみの仕分けをすることもリサイクル率の向上につながるね！

1日に卵1個分くらいの重さのごみを減らすと目標に近づくね！

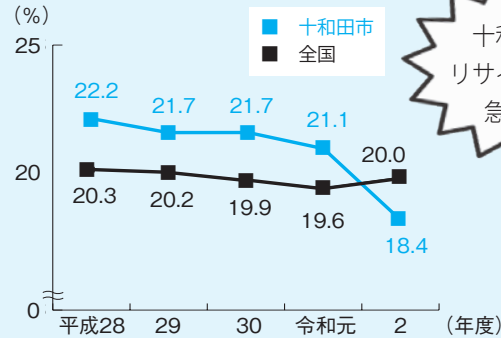


1人1日当たりのごみ排出量の推移



このまま減るといいな...

リサイクル率の推移



十和田市のリサイクル率が急降下！



1人1日当たりのごみ排出量
= ごみ総排出量 (※) ÷ 市の人口 ÷ 365日

リサイクル率 = 再資源化量 ÷ ごみ総排出量

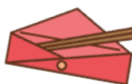
※ごみ総排出量…生活系ごみと事業系ごみの合計

生活ごみの排出量が増えています

令和元年度から令和2年度にかけて、本市の1人1日当たりのごみ排出量は16g減りましたが、内訳を見ると生活系ごみは12g増加しています。在宅時間の増加やテイクアウトの利用回数が増えるなど、新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化により生活系のごみが増加しています。また水分の多い生ごみの量が増えると、燃えるごみの焼却の効率が悪くなり、処理が間に合なくなります。

ごみ減量のためにできること

- ▶ 生ごみのもとを減らす
- ▶ 生ごみの水切りを徹底する
- ▶ すぐに使う食材は手前に並べられている商品から購入する
- ▶ 普段の食事を残さず食べて食品ロスを削減する
- ▶ エコバックを持参、マイ箸を利用して不要な物はもらわない
- ▶ 使えるもの（資源）は再利用、リサイクルへ



市の取り組み

- ▶ 「ごみ減量化・分別の徹底」の理解促進
- ▶ 幼児向けのリサイクル教室による環境教育
- ▶ 資源集団回収実施団体へ奨励金を交付
- ▶ 飲食店などへ事業系生ごみ低減の呼び掛け

ごみの減量とリサイクルにご協力をお願いします

